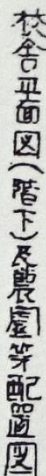


(落成頃の配置図)

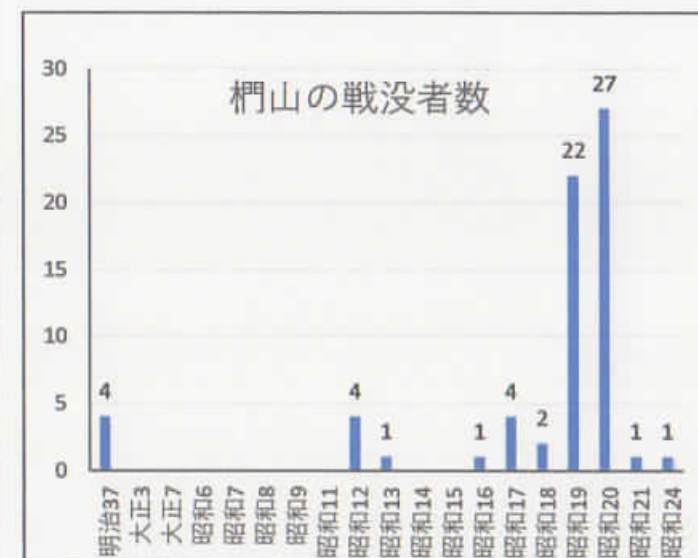
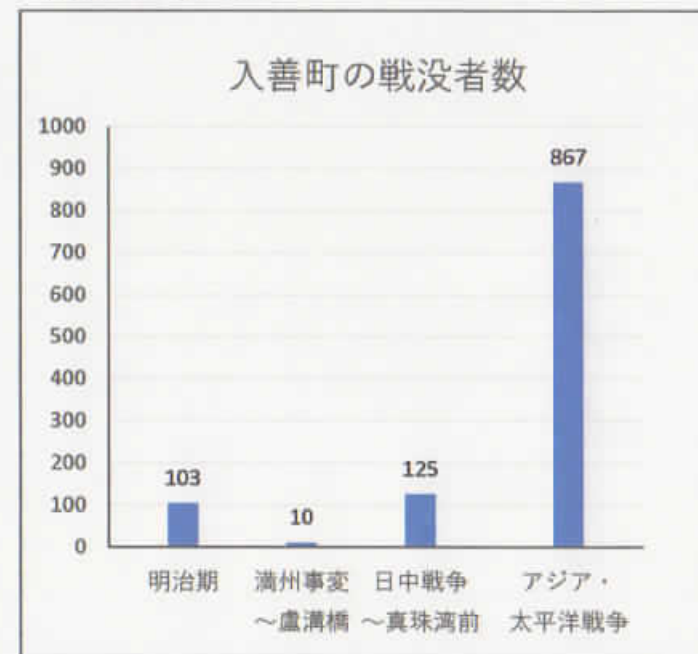


近代戦争史と入善町、梶山の戦没者の状況

令和元年7月 米田幹雄

西暦	年号	年表・近代戦争史	梶山	旧入善町
1894	明治25	日清戦争		103
1902	明治35	日英同盟		
1904	明治37	日露戦争	4	
1914	大正3	7.28第1次世界大戦勃発～1918.11.11		10
1918	大正7	～1922シベリア干涉戦争		
1931	昭和6	9.18(柳条湖事件)満州事变始まる		
1932	昭和7	3.1満州国建国宣言、5.15事件		
1933	昭和8	2.24国際連盟リットン報告承認、3.27国際連盟脱退		
1934	昭和9	3.1満州国帝政実施、溥儀皇帝就任		125
1936	昭和11	2.26事件、8.7「国策の基準」大陸・南方への併進決定		
1937	昭和12	7.7(盧溝橋事件)日中戦争始まる、8.13第2次上海事変、11.11上海占領、12.13南京占領・南京事件	4	
1938	昭和13	1月満蒙開拓青少年義勇軍第1回募集、3.28日本の傀儡政権南京に成立、4.1国家総動員法公布、4.7徐州作戦発動	1	
1939	昭和14	5.11ノモンハン事件、7.8国民徴用令公布、9.1独軍、ポーランド進攻、第二次世界大戦勃発、12.26朝鮮人に創氏改名を強制		
1940	昭和15	9.27日独伊三国同盟、10.12大政翼賛会発会式		867
1941	昭和16	4.13日ソ中立条約調印、8.1ア対日石油輸出禁止、9.6御前会議(対米英才戦準備完了)、12.8真珠湾攻撃	1	
1942	昭和17	4.9ハターン半島死の行進、4.18トールittle空襲、5.7珊瑚海海戦、6.5ミッドウェー海戦大敗、8.7米軍ガ島上陸、ソロモン海戦等	4	
1943	昭和18	2.1ガ島撤退開始、4.18山本五十六戦死、5.12アッツ島守備隊玉砕、9.4米豪軍ラエに上陸蛙飛び作戦開始、9.8伊無条件降伏、9.30絶対国防圏設定、10.2学徒出陣壮行会	2	
1944	昭和19	1.7インパール作戦発動7.2中止、6.15サイパン島上陸7.7玉砕、7.18東条内閣総辞職、10.20レイテ島上陸、10.24レイテ沖海戦、10.25神風特攻初出撃、11.24B29東京を初空襲	22	
1945	昭和20	2.19硫黄島上陸、3.10東京大空襲、4.1沖縄本島上陸6.23守備隊玉砕、7.26ポツダム宣言発表7.28鈴木内閣黙殺、8.6広島・8.9長崎に原爆、8.8ソ連宣戦布告、8.15玉音放送	27	1,105
1946	昭和21		1	
1949	昭和24		1	
計			67	

*戦没者数は入善町誌(昭和42年編纂)を基に入善町遺族会作成(平成22年編纂)の顕彰者名簿を参考にした



入善町の戦没者慰霊施設と護持状況

令和元年7月

地区	慰 霊 施 設					維 持 管 理		
	場 所	建 立	碑 銘	揮 毫 者	合 祀 者 数	組 織	催 事	状 況
入善	入善神社境内	明44.8	表忠碑	乃木希典 (陸軍大将)	164	遺族会	町主催の慰霊行事と共に	
		平13.7	英霊の碑	田中 照	銘版13枚			
上原	上野神社境内	昭9.11	(左) 忠魂堂 (右)	神尾光臣 (陸軍中将)	133	忠魂堂運営委員会 (各地区からの役員退任者、12人)	慰霊祭	
青木	青木六本松公園内	明42.6	丸石 護国鎮		1 6	遺族会15人程度	8月15日簡単な祭壇を整え めいめいがお参り	遺族の高齢化と減少
		昭31.10	殉国の霊	館 哲二 (元県知事)	62			
飯野	東狐善称寺境内	昭25.1	平和塔		189	遺族会	追悼法要	法要前に遺族会で清掃
小摺戸	掛け軸				97		追悼法要／3年毎	
新屋	町新屋通法寺境内		無我堂		121	遺族会	追悼法要	
栲山	栲山公民館裏	昭15	忠霊塔	松井石根 (陸軍大将)	68	遺族会(区長会と共に今後を検討中)	8月13日6時清掃・除草、献花・ローソク、記名板を掲げ参拝	遺族の高齢化と減少
横山	旧みな穂支店横	昭15	忠魂堂	松田伊治	108	横山地区忠魂堂奉賛会(10年ほど前から遺族会と区長会で)	毎年10月頃に公民館で慰霊祭 来賓挨拶など30分	お盆には忠魂堂にお花とろうそく
舟見	旧舟見小跡地	昭10.11	忠魂碑	乃木希典 (陸軍大将)	108	舟見地区戦没者奉賛会(遺族4人、区長8人、有識者、館長など16人、会長は区長会長)	慰霊祭	年2回の除草など
野中	旧みな穂裏から 野中公民館横へ	昭16.6	忠魂堂		55	令和元年より忠魂堂管理運営協議会(会長は区長会長、遺族会、館長、社協の4名)	8月13日に追悼法要 参列は10人程度	法要前などに清掃

1,105

*入善町誌(昭和42年編纂) 及び入善町遺族会 終戦65周年記念事業(平成22年11月)各地区戦没者慰霊施設・顕彰者名簿をもとに調査作成

< 梶山の忠霊塔 >

建立：皇紀2600年（昭和15年）

陸軍大将
松井石根謹書



< 裏面 >



< 正面 >



< 右側 >



< 左側 >



(写真は野口昇さん宅保管 L判)



昭和18年2月24日 野口良作海軍特務大尉村葬で
哀悼を捧げる松井大将

松井石根(まつい いわね)の略歴

(Wikipediaより抜粋)
令和元年7月

西暦	年号	年齢	略 歴
1878	明治11		名古屋市牧野村に生まれる
1901	明治34	23	陸軍大学校に入学 同郷の先輩にもあたる荒尾精に思想的影響を受ける(日中の強い提携。欧米列強の侵略に対し、アジア諸国が連携しあって対抗しようという考え)
1904	明治37	26	日露戦争に従軍
1906	明治39	28	陸軍大学校卒業 参謀本部に配属 フランスに派遣
1907	明治40	29	フランスから帰国 清国に派遣
1909	明治42	31	大尉から少佐に昇進 孫文と親交 孫文、蒋介石を支援 孫文の大アジア主義に共鳴
1928	昭和3	50	張作霖爆殺事件が勃発 「田中・蒋介石会談」の破綻
1934	昭和9	56	退役し予備役に
1936	昭和11	58	蒋介石との関係回復を図るが破綻
1937	昭和12	59	7月7日、盧溝橋事件勃発、日中戦争始まる 8月12日、第2次上海事変勃発 8月14日、予備役の松井に陸軍次官から呼び出し 8月20日、上海派遣軍司令官として2個師団(2万人)を率いて20万人の中国軍の待つ上海に向け出港 11月12日、上海陥落、日本軍の死者は1万人 11月28日、参謀本部は第10軍の暴走を追認、南京攻略発令 12月10日、南京総攻撃開始 南京事件発生 12月13日、南京陥落 12月17日、松井入城 *松井は日本を立つ前から武勲を求め、南京に攻め入ると豪語していた。南京への行軍は食料現地調達方針の下、略奪、焼き討ち、強姦など非業の限りを尽くし、南京陥落後の掃討も以後の負担にならぬよう人命軽視の処置がなされたと伝えられる。
1938	昭和13	60	2月21日、更迭され上海を離れて帰国し、予備役となる
1940	昭和15	62	2月、日中戦争における日中双方の犠牲者を弔う為、熱海市伊豆山に興亜観音を建立
1942	昭和17	64	6月、大亜細亜協会会頭として国外視察に出かけ、上海・南京・台湾・広東・海南島・仏印・タイ・ビルマ・マレーシア、スマトラ島・ジャワ島・セレベス島・フィリピンを訪れ、大東亜共栄圏確立の重要性を説く
1943	昭和18	65	2月24日、野口良作海軍特務大尉の梶山村葬に会葬(写真あり)
1945	昭和20	67	8月15日、玉音放送を熱海の自宅で聞く
1946	昭和21	68	3月5日、巣鴨プリズンに収容される 戦争犯罪人として逮捕、極東国際軍事裁判において起訴される
1948	昭和23	70	南京での不法行為について、その防止や阻止・関係者の処罰を怠ったとして死刑の判決を受ける 12月23日、巣鴨プリズン内で松井を含め、7人(残りの6人は東條英機、広田弘毅、板垣征四郎、土肥原賢二、木村兵太郎、武藤章)の死刑が執行された
1978	昭和53		他のA級戦犯と共に靖国神社へ合祀された



南京入城



梶山村葬

